

地域の防災活動にご協力をお願いします

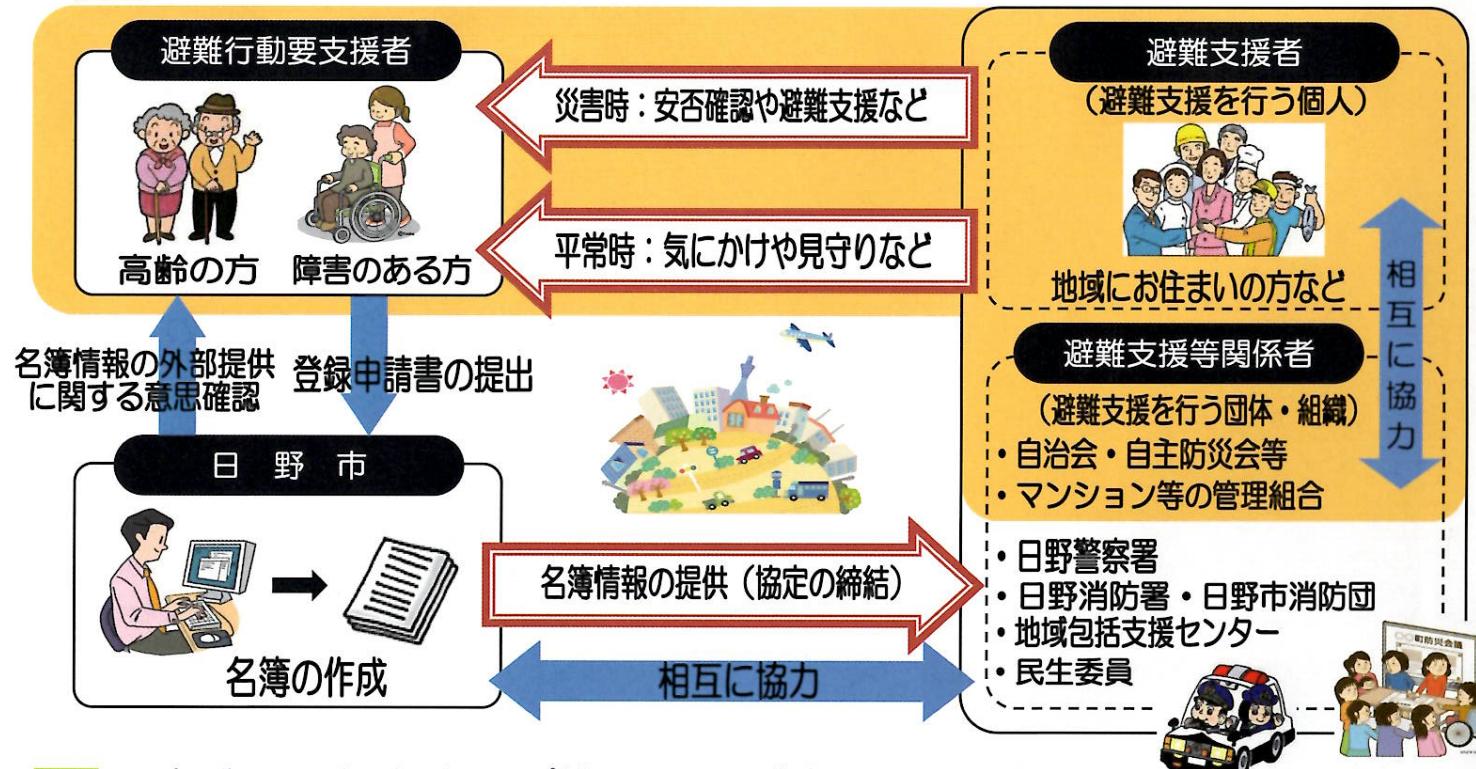
地域のみなさまへ

高齢者や障害者など『災害時に助けてほしい！』と自ら意思表示をした人たちがいます。

日野市では、そのような人たちの名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、自治会や自主防災会などの地域に提供し、地域で「見守り」「助け合う」体制づくりを進めているところです。今後もより多くの地域に名簿を提供し、地域主体の防災活動の取組みを広げていきたいと考えています。

災害などのいざという時に、地域全体で助け合うことのできるまちづくりを市と一緒に進めていきましょう！

■ 避難支援の流れ（制度の概要）



■ 地域のみなさまにご協力いただきたいこと

① 市が提供する名簿の受取りをお願いします。

※制度の概要や名簿の受取り方法などは、下記の問合せ先にご相談ください。

※必要に応じて個別に説明に伺います。

② 名簿を活用した地域の避難行動要支援者の「見守り」をお願いします。（平常時）

③ 名簿を活用した避難行動要支援者の避難支援や安否確認をお願いします。（災害時）

※名簿を活用して行う具体的な取組内容については、下記の問合せ先にご相談ください。

■ 問合せ先 電話：042-585-1111（代表）

日野市 総務部 防災安全課 内線7745・7746
健康福祉部 高齢福祉課 内線2422・2423
健康福祉部 障害福祉課 内線2321・2322

一中地区版



地域かわら版

■発行日／平成 28 年 5 月 H28年通算第19号
■発行・編集／日野市企画部地域協働課
〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2
■電話／042-581-4112

地域がつながる フリーぺーパー

「地域かわら版」は、市内8中学校区ごとに、地域の活動を紹介する地域情報誌です。「こういう活動をしている人がいるんだ」と知ること、「今度行ってみようかな」と参加すること、「自分も何か活動してみようかな」と行動することのきっかけになれば幸いです。

アクションプラン実行委員会

地域懇談会では、これまで地域の課題を地域の人々で解決するためのアイデア「アクションプラン」を地域の人々で考えてきました。

一中地区は「ラジオ体操後の地域イベント」です。夏休み中に各地で行っている子どものラジオ体操。この後に1日だけ仲田の森蚕糸公園に集まるイベントを実施することで、地域の人たちが楽しく交流するきっかけを作ろうとするものです。

現在、自治会、NPO団体など、地域の有志の方々からなる実行委員会を開催し、このアクションプランを一中地区全体で取り組む方法について検討しています。今後もご期待ください！

特集① 日野駅そばの、まちの縁側 キヨテン 107

キヨテン 107 は、実践女子大学、日野駅周辺飲食店、日野市民、日野市とが連携して行っている「日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会（通称：ひのプロ）」が運営している。

地域の新しいコミュニティスペースです。

このシャッターの向こう側では、**若者が中心**となって様々な人が集まり、日野の「おもしろ！」を考えています。そんな、新しくてワクワクする、**可能性**溢れる地域の拠点（キヨテン）をご紹介します。

「キヨテン 107」 JR 日野駅から徒歩 3 分
日野本町 3-12-8 サニーハイツ'80 107 号室

特集② 中万願自治会 ～解散危機を乗り越えた地域の想い～

小規模な自治会が抱える身近な課題。

自治会員の退会。役員の成り手不足。

そして、自治会の「解散」。

その危機を、「**地域のつながりのチカラ**」で乗り越えた自治会「中万願自治会」の取組み事例をご紹介します。

コミュニティスペース

レンタルスペース

イベント、講座、サークル、ワークショップ、会議、パーティ…色々な企画で使ってください！

キヨテン 107 は、誰でも気軽に立ち寄れるコミュニティスペースです。近隣のおもしろ情報や、こんなことしたい！というアイデアが集まります。

日野駅そばの、まちの縁側

キヨテン/107

で起こること

キヨテン 107：平日 10:00～18:00（イベント時は除く。また、急なクローズもあり。）
※その日のオープン時間は WEB サイトにてご確認ください。

<http://kyoten107.com/107>

街の人を巻き込む

予期せぬおもしろさを発見

この小さな箱からおもしろい発信を受け取ったり意外な出会いをもらったり。
家賃は1か月500円。
随時入居者を募集中です。

運営団体：ひのプロ
(日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト)
『日野駅周辺の住民や働く人たち × 実践女子大学 × 日野市』
新しい“ひの”を提案します。
日野市日野本町 3-12-8
サニーハイツ' 80 107 号室

kyoten107.hino@gmail.com

中万願自治会の取組み

～解散危機を乗り越えた地域の想い～

-解散危機-

中万願自治会は発足53年目を迎え現加入世帯は67世帯と小規模な自治会です。

8年前当自治会に大きな危機が訪れました。小規模な為、役員がたびたび回つて来る事(輪番制)が負担に感じた会員の退会が続き24世帯まで落ち込みました。当然、財政面も破たん寸前解散に追い込まれる状況になりました。

-新しい運営制度-

12人の有志がサポーターに名乗りをあげ、チームで自治会を運営する新制度(サポーター制度)を発足させ、新たな活動がスタートしました。



-様々な活動-

主要活動として、①お祭り＝盆踊り・秋の祭礼 ②防犯・防災活動 ③地域清掃活動 ④敬老のお祝い活動等です。

重点活動としては

- ①交流会の実施、お互いを知り合う機会を狙いとして夏はそうめん流し、秋は餅つきの実施。
- ②防災、防犯会の開催。会員の意識の向上を図る狙いから消防署、日野警察署・交番の協力を得て実施。
- ③地域に多くの人が集まれる公園の開設を要請して、広場が実現しました。
- ④連携活動、大学と連携し若い意見を取り入れてきました。
- ⑤資源物回収の実施、リサイクルの重要性及び財政改革を目的に毎月2回実施。財政面で、大きな役割を果たしています。



そのほか、多摩川クリーン作戦、地域一斉清掃、合同水防訓練へ積極的に参加しています。

自治会の目的、年度方針、活動の具現化に沿って、自治会業務を7項目に整理し責任者を決め、会員の協力を仰ぐ体制が出来てきました。

3年前、50周年記念事業(記念誌の発行、交流会等)や東京都「地域の底力再生事業助成」への応募は、地域の団結、参加意識の向上と、自治会の基礎作りに貢献できました。

-次のステップへの課題-

次のステップとして現在のサポーター制度の後継が重要課題と考えております。
すさまじい世の中の変化、人口構成、高齢化、少子高齢化、自治体の変化等環境にどう対応するか、自治会としても大きな問題です。

こうした課題に当自治会はサポーター制度で運営していましたが、これからは常に先を見越し、余裕のある時に次の課題に備える準備が最大のテーマと捉え、会員の多くの声を聴き、時間を充分かけより良い地域づくりを目指したいものです。再度自治会を皆さんで考える元年にしていきましょう。

-次のステップへの課題-

次のステップとして現在のサポーター制度の後継が重要課題と考えております。
すさまじい世の中の変化、人口構成、高齢化、少子高齢化、自治体の変化等環境にどう対応するか、自治会としても大きな問題です。

こうした課題に当自治会はサポーター制度で運営していましたが、これからは常に先を見越し、余裕のある時に次の課題に備える準備が最大のテーマと捉え、会員の多くの声を聴き、時間を充分かけより良い地域づくりを目指したいものです。再度自治会を皆さんで考える元年にしていきましょう。